



りっか! 雨水利用



「りっか」とは沖縄の方言で「さあ」という意味です。



雨のふり方

沖縄の気候・地形の特徴

沖縄県は雨に恵まれています。

良いね!

梅雨と台風時期に集中しています。

ざんねん

ほとんど海に流れてしまいます。

もったいない

沖縄県は年間平均 2,000mm 以上の雨に恵まれています。梅雨や台風の時期に集中しています。また、島しょ地域のため川が急で短く、そのほとんどが海に流れてしまっています。



毎日利用して
水道代を節約



災害などの
万ーに備えて

庭の草花や植木の水やり、打ち水や洗車などにも利用できそうですね。また、毎日のお掃除などの水仕事にも役に立ちそうです。大切な水資源を上手に利用すれば、お財布にも優しい毎日が送れそうです。

水道水、雨水、上手に使い分けて、賢い毎日。雨水利用をご検討ください。

平成23年3月に発生した東日本大震災では水道施設も大きな被害を受け、広い地域で断水になりました。水道の断水は震災後3日目頃より解消ははじめ、10日目頃で約6割、20日目頃で約8割が解消しています。

このように、地震が発生した場合には少なくとも3日間は水道が使えなくなることが想定されます。

台風や地震などの災害発生時には、生活用水が確保できていないと、困りますね。対策が必要ですね。



雨水利用

よかったね! 良いことが2つ



昔からの知恵

昔の沖縄での雨水利用

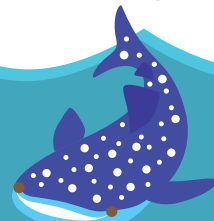
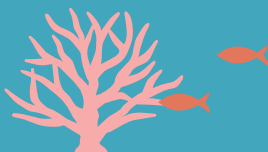


資料提供: 粟国村経済課

沖縄県では古来より生活用水として雨水を貯留して活用してきました。水道施設の整備が進んだ現代では一般家庭で雨水が利用されることはあまりありませんが、渇水や地震などの災害時への対応として、雨水利用を進めることが有効と考えられます。

粟国島では、雨水をためるために、島の西側の海岸にある凝灰岩をくりぬいてつくった大きな水がめ(トゥージ)を使っていました。

水不足になりやすい。だからこそ雨水を上手に利用しましょう。



雨水を使ってみよう!

⚠️ 雨水を利用する際の注意点



処理が必要です。

処理の方法は下記の説明をご覧ください。



飲料用ではありません。

雨水は飲料水には向いていません。

沖縄県の降水量は

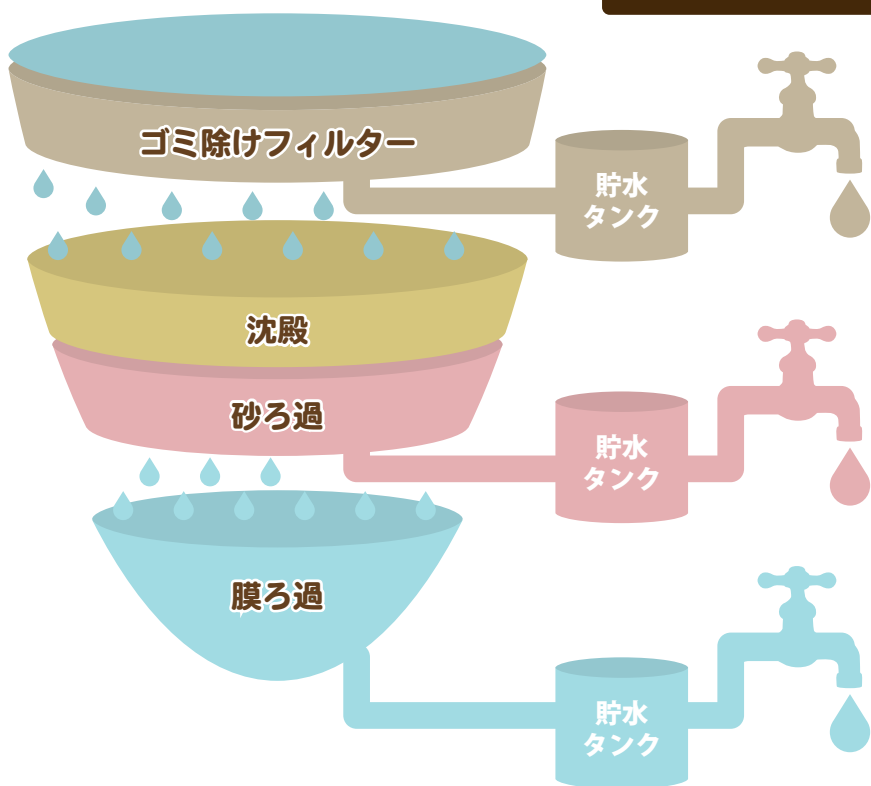
年間平均 **2,000mm**

● 雨水の処理

雨水を活用する用途としては、庭水、散水・打ち水、トイレ、洗たく、洗車、洗面、風呂、飲用などがあります。

この用途に応じて適切な水質を得るための処理が必要となりますが、利用のしやすさや維持管理を考えると、ゴミ除けフィルターと貯水タンクを設置する庭水、散水・打ち水での利用や、さらに沈殿、砂ろ過を行うトイレ、洗たく、洗車などでの利用が取り組みやすいと考えられます。

このような用途に利用することができます。



庭水



散水・打ち水



トイレ



洗たく



洗車



洗面



風呂

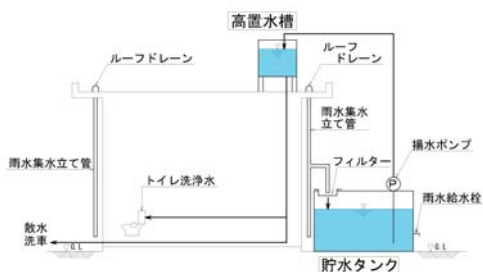


シャワー

● 雨水利用施設の例

雨水を利用するときは、建物の屋根にふった雨を、立て管を使って地上または地下に設置した貯水タンクに集めます。トイレ洗浄水として使う場合は建物の屋上に高置水槽を設置して貯水タンクからポンプで揚水して使います。

また、貯水タンクを地上に設置した場合には、給水栓を設けることで、ポンプを設置せずに打ち水や散水用などとして水を利用することもできます。



⚠️ 雨水利用に当たっての留意点

- [雨水用の専用配管の設置] 雨水をトイレなど屋内で利用する場合は、水道水と雨水が誤って混ざることのないよう、雨水専用の配管やタンクを設置することが必要です。
- [初期雨水の排除] 雨のふりはじめの初期雨水は空気中や屋根のちりなどを含むため水質が悪いといわれています。このため、降水量1mm程度までの初期雨水は、バルブ操作や初期雨水カット装置の設置により取り除くことで、水質を良くすることができます。
- [フィルター] ゴミや落ち葉などを取り除くために設置するフィルターは定期的な清掃が必要です。

